

ビンディング解放値の設定表

スキーヤーのパラメータ			ブーツソールの長さ(mm)による初期インジケータ値							
体重 (kg)	身長 (cm)	スキーヤーコード	≦230	231～250	251～270	271～290	291～310	311～330	331～350	≧351
10～13		A	0.75	0.75	0.75					
14～17		B	1.00	0.75	0.75	0.75				
18～21		C	1.50	1.25	1.25	1.00				
22～25		D	2.00	1.75	1.50	1.50	1.25			
26～30		E	2.50	2.25	2.00	1.75	1.50	1.50		
31～35		F	3.00	2.75	2.50	2.25	2.00	1.75	1.75	
36～41		G		3.50	3.00	2.75	2.50	2.25	2.00	
42～48	≦148	H			3.50	3.00	3.00	2.75	2.50	
49～57	149～157	I			4.50	4.00	3.50	3.50	3.00	
58～66	158～166	J			5.50	5.00	4.50	4.00	3.50	3.00
67～78	167～178	K			6.50	6.00	5.50	5.00	4.50	4.00
79～94	179～194	L			7.50	7.00	6.50	6.00	5.50	5.00
≧95	≧195	M				8.50	8.00	7.00	6.50	6.00
		N				10.00	9.50	8.50	8.00	7.50
		O				11.50	11.00	10.00	9.50	9.00
		P						12.00	11.00	10.50

■タイプⅠスキーヤー（初級）

緩やかな角度から中程度の角度にかけての滑らかな斜面を慎重に滑るスキーヤー

このタイプのスキーヤーは、平均より下回る解放強度設定値を好みます。こうした設定では、転倒時のリリース性能が高まる一方、ビンディングが不用意にリリースする危険も高まります。分類の不確かな初心者もこのタイプⅠになります。

■タイプⅡスキーヤー（中級）

タイプⅠにもタイプⅢにもあてはまらないすべてのスキーヤー

このタイプのスキーヤーは、レクリエーションレベルのスキーイングに適した平均的な解放強度設定値を好みます。

■タイプⅢスキーヤー（上級）

中程度から急な角度の斜面を滑る高速志向のスキーヤー

体重22kg未満のスキーヤーはタイプⅢ設定を用いてはいけません。このタイプのスキーヤーは、平均を上回る解放強度設定値を好みます。こうした設定では、ビンディングが不用意にリリースする危険が低下する一方、転倒時のリリース性能も低下します。

※体重と身長が同じ段にない場合は、上の方の解放値を選ぶ ※年齢50歳以上または10歳未満のスキーヤーは、1段上げる ※タイプⅡは、1段下げる ※タイプⅢは、2段下げる